

鉄骨工事 Q&A	材料	平鋼と厚板	制定	2011年7月1日
			改訂	2019年4月1日

Q. 平鋼と厚板の違いは？

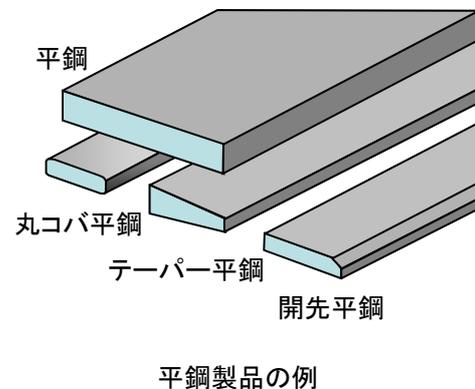
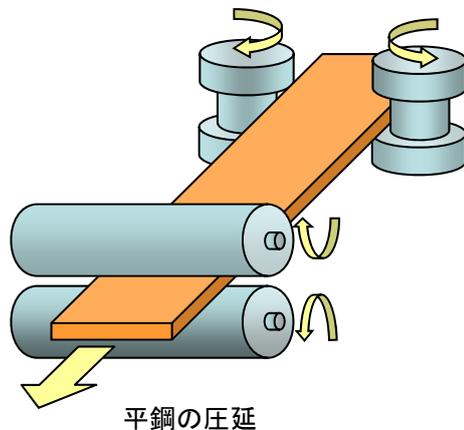
A.

平鋼は、長方形断面の4面を熱間圧延して製造されるもので、このうち幅が180mmを超えるものを広幅平鋼といいます。平鋼には、丸コバ平鋼，テーパ平鋼，開先平鋼などの様々な異形平鋼もあります。

厚板は、板厚6mm以上の鋼板をいい、2面を圧延した後、長さを切断(場合によっては幅も切断)して出荷されます。

板状鋼材の分類

分類		寸法・形状
熱延鋼板 (冷延鋼板)	厚鋼板 ————	厚板 ————
		中板 ————
	薄鋼板(薄板) ————	
	鋼帯 ————	広幅帯鋼
		帯鋼
平鋼	広幅平鋼	
	平鋼	



(参考) JIS規格に規定されている平鋼の定義を以下に示します。

- JIS G 0204 「鉄鋼用語(鋼製品の分類及び定義)」より
 - ①長方形の断面をした棒鋼。
 - ②製品は、4面とも圧延される。
 - ③一般に、厚さは5mm以上、幅は500mmを超えない。
 - ④熱間圧延された平鋼をとくに「熱間圧延平鋼」と呼ぶ。冷間圧延された平鋼を「冷間圧延平鋼」と呼ぶ。
- JIS G 3194 「熱間圧延平鋼の形状、寸法、質量及びその許容差」より
 - ①平鋼は、厚さ100mm以下、幅1250mm以下の寸法のをいう。